

未来へチャレンジ

令和2年4月24日 第1号

宇城市立不知火小学校通信

文責：校長 豊田 拓希

よろしくお願いします！

本年度、新しく不知火小学校に校長として着任しました豊田拓希（とよだひろき）と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

令和2年度の不知火小学校は、1年生51名を迎えて全校児童が365名、職員39名でスタートしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染防止対策のため臨時休校となってしまう、大変残念な気持ちです。学校が再開したら、また元気な子供たちの笑顔に会えることを楽しみにしています。



さて、本校では子どもたちの良さを伸ばし、将来生きてはたらく力を身に付けることができるように、本年度の学校教育目標等を次のように設定しました。

◎ 学校教育目標

「自ら未来を切り拓く児童の育成」

～かしこく、たくましく、思いやりの心をもち、ふるさとに学ぶ～

○ 4つの柱

かしこく	(賢)	学び合い、高め合う
たくましく	(鍊)	心も体も鍛える
思いやりの心をもち	(慈)	自分も友達も大切にする
ふるさとに学ぶ	(絆)	地域の良さに学ぶ

「自ら未来を切り拓く」とは、自分の力で、自分の夢に向かって挑戦しながら未来を切り拓いてほしいということです。勉強が分かるようになりたい、運動ができるようになりたい、将来は、こうなりたいという自分の思いや夢を大切にして、積極的にチャレンジしてほしいと思います。

「かしこく」は、「進んで学び合い、高め合うこと」です。子供たちは、授業の中でほかの人の考えを聞いたり、話し合ったりすることで自分を高めていくことができます。積極的に発表したり話し合ったりして、考えを深めてほしいと思います。

「たくましく」は、「心も体も鍛える」ということです。子供たちは、体育の時間などでもう一步がんばることにより、走るのが速くなったり、運動が上手になったりすると思います。元気いっぱい自分にチャレンジして、心も体も鍛えていってほしいと思います。

「思いやりの心をもち」とは、「自分もほかの人でも大切にする」ことです。みんなが楽しく、安心して生活することができる学校は、すばらしい学校だと思います。そのためにも、自分のことも、ほかの人のことも大切にする思いやりの心が必要です。

「ふるさとに学ぶ」については、地域の方々とたくさんふれあい、学んできていると思います。これからも、自分が住んでいる不知火町のことを地域の方々と交流しながらしっかり学んで、ふるさとを大切にしてほしいと思います。

そのほかに、「あいさつ・返事」「正しい姿勢」「整理整頓」をしっかりとがんばってほしいと思います。あいさつは、自分から進んで相手に自分を伝える第一歩です。また、自分の名前を呼ばれたら、はきはきと「返事」をすることが大切です。そのほか、集中して勉強に取り組むためには、「姿勢」をよくすることが大切です。また、自分の持ち物や使ったものは、次に使いやすいように、きちんと整理整頓していくことが大切です。自分の靴や上靴、トイレのスリッパなども、きちんと並べるようにしてほしいと思います。これから1年間、どうぞよろしくお願いいたします。